

朝鮮語教育学会ワークショップ企画

明日から使える 授業の小ネタ交換会

提案者：須賀井義教（近畿大学）

企画趣旨

本企画は、朝鮮語教育に携わる本学会の会員が、日頃の授業で用いているテクニック、解説などを共有し、相互にブラッシュアップしていく場を提供することが目的です。研究発表の場である例会、個別の分野をさらに深めていく分科会とは別に、ふだん受け手になりがちな一般会員が主な参加者となり、発信・実践してもらおう場としたいと考えています。

日時・場所

2019年6月16日（日） 10時～12時 京都女子大学

*発表者の数が多い場合、1時間ずつ前半と後半に分けて行う予定。

進行の形式

本会会員1人以上を含む、1人または複数人で1チームとし、それぞれの「コーナー」を担当します。いわゆるポスターセッションと同じく、1つの会場で複数のコーナーを同時に進行します。ギャラリーは好きなコーナーに行って発表を聞き、一つ聞き終わったらまた次のコーナーへ、というように移動します。発表者は2時間（発表者が多い場合は1時間）の中で、集まったギャラリーに対して繰り返し発表および質疑応答を行います。

発表の長さは、ギャラリーが多くコーナーを回れるよう、1回辺り5分～10分くらいに収めるようにしてください。

また、発表時に使用する言語も問いません。

内容

発表する内容・テーマは、それぞれのチームが自由に設定します。説明するよりも、普段の授業で実践している内容を模擬授業のように実践していただくのが望ましいです。内容の例：

- 単語を覚えさせるのにこんな方法を使っている！
- 「-아/어 있다」はこの図解で全員納得！
- 終声の発音をこういう風に教えています！
- この教科書のこのページはこう教えると効果的！
- などなど

テーマの大小，学習者レベルの高低などは気にする必要はありません．また，「こんなことをやってみよう・やってみたいと考えている」という内容や，現在授業で行っている内容について意見をもらいたい，という趣旨でも構いません．

発表の準備

発表で用いる資料（教科書のコピー，自作プリントなど）や機材（パソコンなど）は，原則として発表者負担で準備をしていただきます．プロジェクターについては1台～2台程度する予定ですが，どのチームに割り当てるかは企画者が決定します．タブレット PC やノート PC など代用できる場合には，そちらを使用してもらほうが確実です．

発表の申請

事前に発表の申請を行うこととし，申請の締め切りを2019年5月31日17時とします．以下の応募フォームを通じて申請してください．

<https://goo.gl/forms/Jea4ChVRtptjfErI2>

不明な点は，須賀井（sugaiy@kindai.ac.jp）までご連絡ください．